

平成 22 年 5 月 13 日

各 位

東京都品川区西五反田一丁目 21 番 8 号
株 式 会 社 ガ イ ア ッ ク ス
代 表 執 行 役 社 長 上 田 祐 司
(コード番号：3775 名証セントレックス)
(連絡先) 執行役財務部長 小高奈皇光
TEL 03-5759-0376 (直通)

第 2 四半期連結累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 2 月 10 日の決算発表時に公表いたしました平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(自平成 22 年 1 月 1 日至平成 22 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

(連結)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,350	-20~80	-30~70	-30~70
今回修正予想 (B)	1,450	80~180	70~170	30~130
増減額 (B - A)	100	—	—	—
増減率 (%)	7.4%	—	—	—
ご参考前期第 2 四半期	1,314	70	50	28

2. 平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正

(自平成 22 年 1 月 1 日至平成 22 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

(連結)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,850	60~160	40~140	10~110
今回修正予想 (B)	2,850	80~180	70~170	30~130
増減額 (B - A)	0	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—
ご参考前期実績 (通期)	2,831	187	160	110

2. 修正の理由

わが国の経済状況は、世界的な景気後退局面から一部に持ち直しの兆しが見られるものの、雇用情勢の悪化や設備投資の低迷など、依然として厳しい状況が続いております。そのような中、当社をとりまくインターネットビジネス市場は、ケータイ白書 2010（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム監修）によると、パソコン向けサービスの利用人口拡大は爛熟期をむかえつつあるものの、モバイルビジネスにおいては市場規模が1兆3524億円と、引き続き117%の成長を示しております。中でも2008年の「iPhone 3G」の発売を機に、スマートフォン利用率は昨年の2.6%から4.0%へと順調に上昇し、スマートフォン市場を含めたインターネットビジネス市場は、引き続き拡大傾向が見込まれています。

このような状況のもと、当社グループは、パッケージ販売の強化、SNS・掲示板監視による健全サイト運営の徹底化、ソリューションラインナップの充実に努め、事業の拡大を図って参りました。また、当第1四半期におきまして、想定以上に顧客への納品が伸長し売上と利益を確保することができました。

以上を踏まえまして、上記のとおり平成22年12月期第2四半期連結累計期間および通期連結の業績予想を上方に修正いたします。

今後とも、株主様の期待に応えるべく企業価値の向上を目指して全社一丸となり事業拡大に取り組んで参る所存でおりますので、何卒ご支援、ご指導賜ります様よろしく御願ひ申し上げます。

以上

（業績等の予想に関する注意事項）

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化などにより、この資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。